

## 岩城 晶巳 議員（代表質問）

### 1 新型コロナウイルス感染症について

- (1) 第2次滑川市独自の新型コロナウイルス感染症対策として、医療従事者慰労金18,600千円・社会福祉施設従事者慰労金21,000千円・中小企業等応援助成金45,000千円・観光商品開発支援事業4,000千円・市内観光応援事業10,000千円・緊急短期雇用創出事業9,400千円について利用状況はどうか。
- (2) 今定例会にもコロナ対策の議案が提出されている。長引けば当然ながら、更なる対策費が必要であると思うが当市は万全か。
- (3) 5月の学校再開は、県内で一番早く再開されたことには評価するものである。その分対策も大変だったと思うが現状を聞きたい。
- (4) 9月定例会に各学校へ感染防止用品購入の予算が計上されているが、2学期のスタートに間に合わせてもらえればベストだったと思うが。
- (5) 中学校の部活動は通常どおりおこなわれているのか。特に吹奏楽部は、飛沫感染のリスクもあり大変だと思うが現状を問う。
- (6) 新型コロナウイルス感染症で地区公民館が利用しにくいと聞く。各種団体の活動が停滞しているのでは。各公民館は開店休業状態ではないのか。問題もあると思うが、利用マニュアルを見直す考えはあるか。
- (7) この秋、各地区の住民運動会は中止と決定され、「市民体育祭」も結局中止となった。「ほたるいかマラソン」は規模を縮小して開催、「宇津木杯ソフトボール交流大会」、「川淵三郎ウォーキングサッカー大会」は開催に向けて準備中とのこと、これら対応の違いはどうか。またバウインドテニス交流大会は開催予定か。
- (8) 第1次対策であるプレミアム付商品券は好評であった。来年度も行う考えはあるか。
- (9) 国の特別定額給付金の申し込みは終了したが、滑川市は7月末で世帯率で98.4%・人口率で99.1%だったと思う。最終的に返上された方も含めどの程度になったのか。

## 2 防災について

- (1) 避難所開設時は住民の皆さんで運営しなければならない。運営マニュアルなど地元の皆さんが理解しているか。
- (2) 町内に最低一人は防災士が必要と思うが市としての考え方は。
- (3) そのために防災士養成のPR活動はおこなわれているか。
- (4) 各町内ごとの避難行動要支援者の把握と、介助の体制はできているか。
- (5) 防災行政無線のデジタル化と、新規設置の状況を聞きたい。
- (6) 今まで聞こえにくい町内もあり、苦情もあったが、スピーカー方向を確認されて設置されているか。

## 3 観光について

- (1) 今まで常願寺川を見て「これは滝だ」と言った言葉は有名だった。県議会の議事録から、これは早月川を指して言った言葉だと確認された。これを滑川の湾岸クルージングに活用できるのではないか。
- (2) 富山湾岸クルージング待望の氷見ルートが開設されている。先般、この滑川漁港と氷見漁港を結ぶ観光商品も発表されたが、観光船は長時間係留ができないというネックがあり、帰りはどうしてもバスになる。往復観光船が利用できれば、魅力もグレードアップすると思うが。法律的に難しいのか。
- (3) 市民の皆さんからは、「岩瀬ルートだったら魅力があるけど」と聞いた。30分の航路は手頃であり、岩瀬の町並みと食事、ライトレールで富山市内に出てショッピングそして帰りはあいの風で帰宅という岩瀬ルートはどうか。

## 古沢 利之 議員（代表質問）

### 1 介護保険について

- ・ 厚生労働省は6月、新型コロナ対応を理由に通所介護や通所リハビリなどを対象に、介護報酬の引き上げ特例を導入した。関係者、利用者に戸惑いがある。
  - ア 問題点、課題についての認識について
  - イ 市内事業所の対応の実態はどうか。
  - ウ 利用者負担などについて
    - 利用者負担分を市で対応する考えはないか。

### 2 少人数学級について

- (1) コロナ禍での学校と子どもたちの状況について  
短縮された夏休み後、学習、心のケアへの配慮は。
- (2) 教職員の負担は増加していないか。
- (3) 制度として小・中学校の「少人数学級」への見解は。
  - ・ 全国知事会長、全国市長会長、全国町村会長の提言
- (4) 国、県に実現を求めよ。

### 3 防災対策について

- (1) 8月30日に県の防災訓練が本市を会場に行われたが、図上訓練とならざるを得なかった。住民参加の訓練も規模の大小はあっても、各地で実施されているようである。本市ではどう考えているか。
- (2) 指定避難所以外への避難者の支援対応は。
- (3) 福祉避難所でも新たな対応が必要ではないか。施設関係者との協議、準備は進めているのか。
- (4) 備蓄品の準備は大丈夫か。  
衛生用品やアレルギー対応食品の準備はどうか。



## 脇坂 章夫 議員（一般質問）

### 1 学校の屋外設備について

- (1) 遊具への立入禁止が見受けられる学校があるが、今後の対応は。
- (2) 校庭に不要物が見受けられる学校があるが、整理できないか。
- (3) 各学校の校庭にあるサッカーゴールの適正な維持と管理が必要ではないか。

### 2 車道と歩道の整備について

- ・ 車道と歩道が段差になっている道路について、今後の改修時等に計画的なフラット化は考えられないか。

### 3 イノシシの被害防止について

- ・ イノシシ被害防止対策で他自治体の効果的な取り組み情報はないか。



## 浦田 竹昭 議員（一般質問）

### 1 ケーブルテレビNet 3について

- ・ ケーブルテレビNet 3の民間譲渡、並びにFTTH化事業関連について
  - ア ケーブルテレビNet 3の現在の資産評価額、並びに民間譲渡契約までのタイムスケジュールについて
  - イ 譲渡後の利用者へのサービス提供の継続、並びに自治体自主放送の発展的継続の維持について
  - ウ FTTH化事業（実施調査設計、センター機器設備更新、伝送路光幹線敷設、引き込み、宅内切り替え運用、既設幹線撤去等）の概要・規模、並びにそれぞれ事業の実施主体の明確化、またそれぞれの事業の概算予算、総予算について、そして事業全体の実施工程、完了予定について
  - エ 人の手配確保、資材の調達確保の観点から、工程的にタイトなことから、国の高度無線環境整備推進事業の完成年度の延長について、国・県への要請、働きかけの必要性について
  - オ FTTH化事業において、引き込み工事並びに宅内工事における利用者負担の有無について
  - カ ケーブルテレビNet 3の民間譲渡、並びにFTTH化の事業内容等の、利用者への情報提供・周知について

### 2 公共施設等個別施設計画について

- ・ 公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画策定に伴い、課題となる施設関連について
  - ア 早月川月形橋について
    - (ア) 平成29年12月から全面通行止めになって、3年経過しているが、今後の処置対応についての方向性は、また魚津市との協議の有無について
    - (イ) 近年の線状降水帯による集中豪雨災害等を教訓として治水対策

## の観点からの見解について

### イ 市民大ホールについて

- (ア) 昭和43年3月に完成してから52年が経過し、先に建設基金が10億円に達したら、建替えを検討するとの約束だったが、今後の対応、検討について
- (イ) 近年の大ホールの利用実績、並びに年間維持管理経費の推移、現状についての見解は。

### ウ みのわ温泉テニス村（特に、グリーンハウス）について

- (ア) グリーンハウスは、昭和61年4月に完成してから、34年が経過し、以前から早月川左岸道路・東部山麓道路の進捗をみて、全面リフォームを検討するとのことであったが、その後の対応について
- (イ) グリーンハウスの年間利用者、並びに年間維持管理経費の推移と現状、そして宿泊施設としての設備・施設内部の現状について

### エ 東福寺野自然公園（青雲閣、体育館）について

- (ア) 青雲閣、体育館は、昭和49年7月に完成し、46年経過し老朽化も相当進んでいることから、今年度も引き続き調査研究を進め、基本構想案を検討したいとのことであったが、その後の対応・進捗について
- (イ) 当初建設時のコンセプトに基づいた、今の時代にあった研修施設・設備のあり方について

### オ 深層水体験施設タラソピアについて

- (ア) タラソピアは、平成10年10月にオープンしてから、わずか22年の経過で機械設備の老朽化から、施設のあり方について議論がされてきたが、その後の対応並びに方針について
- (イ) 近年の利用者の推移、並びに年間維持管理費の推移、そして機械設備全面改修経費見込み等について

### カ 行田公園のSL機関車について

- (ア) SL機関車が、なぜ、児童館の移転新設とともに移設されなかったのか。
- (イ) SL機関車の維持管理を含めた今後の対応について

### キ 市役所正面の噴水池について

- ・ 昭和38年5月に池が設置され、昭和40年7月には噴水が完成し、市民の憩いの場として親しまれてきたが、平成28年度途中から水をためなくなり、また噴水もその以前から揚げなくなっている。この



噴水池を今後どのようにされるのか改めて見解を問う。



## 中川 勲 議員（一般質問）

### 1 滑川蒲鉾跡地について

- (1) 活用方法はどのようなのか。
- (2) 購入計画時点での活用策ではだめなのか。
- (3) ダイビングスポット利用者の休憩所等の設置をするべきではないか。
- (4) いつまであの状態にしておくのか。

### 2 海浜公園について

- (1) 第5次総合計画基本構想の素案にオートキャンプ場整備と北日本新聞に掲載されていたがなぜか。
- (2) あの限られた場所に何台車が駐車でき、何張のテントが張れるのか想定したのか。
- (3) 管理棟やトイレ・炊事場等の設備が必要となるが大丈夫か。

### 3 持続可能な社会を目指す開発目標「SDGs」の取り組みについて

- (1) 富山県立大学の学生が滑川市内でSDGsに関わる企業や施設を取材され、市役所で成果を発表されているがどんな内容であったのか。
- (2) 市内企業でも農業に関わる省力化器機を開発しサービスを行っているが、応援をしているのか。
- (3) 海浜公園周辺海岸には多くのプラスチック製品が流れ着いている。これをどうすれば良いと考えているのか。
- (4) 今後滑川市として積極的に取り組むべきと思うが。



## 青山 幸生 議員（一般質問）

### 1 新型コロナウイルス感染症の対応について

- (1) 中小企業等応援補助成金の申請受付状況は。
- (2) 中小企業等応援補助成金のアンケートは今後どのように生かすのか。
- (3) 新型コロナウイルス感染症陽性者の経路に入った施設及び店舗の消毒はどのようにしているのか。

### 2 西部小学校区放課後児童クラブについて

- (1) 建設地の除草作業がすぐできなかった理由は。
- (2) 西部小学校の雨水対策が問題となっている。貯水施設を設けないのか。

### 3 情報公開について

- (1) 滑川市は他の市町村に比べ、情報を書類やホームページで開示することが少ないように感じるが、市の見解は。
- (2) ホームページでしっかり開示することによって、窓口業務が減少すると考えるがどうか。

### 4 危険老朽空き家について

- (1) 危険老朽空き家対策事業の空き家調査の現状は。
- (2) まちづくり課として解体した後のことを所有者と共有できているか。



## 角川 真人 議員（一般質問）

### 1 公共交通の利用促進について

- (1) コミュニティバスの停留所にベンチを設置するなど、落ち着いてバスの到着を待つことができる環境を整えてはどうか。
- (2) コミュニティバス第一便で滑川駅に山の方からくるルートは、現在7時30分頃に到着しているが、これでは7時台の魚津方面行に間に合っていない。利用拡大のためにダイヤの見直しを検討してはどうか。

### 2 旧児童館跡にあるSLについて

- (1) 旧児童館が取り壊されてしばらくになるが、SLはどのように管理されているのか。
- (2) 今の児童館や開発予定の中滑川駅の近くに移動させ、滑川市のランドマークにしてはどうか。

### 3 インフルエンザ予防接種の助成について

- ・ 新型コロナとインフルエンザの同時流行を防ぐため、県が小学生までを対象としたサポートを決めたが、それを受けて滑川市独自の拡充は検討されているのか。





## 大浦 豊貴 議員（一般質問）

### 1 滑川駅前市営住宅跡地について

- (1) 第5次滑川市総合計画（案）基本計画5年間の施策として滑川駅前市営住宅跡地についての取り組みは見られないが、既存ストックの有効活用・空洞化対策やコンパクトなまちづくりを推進するにあたり、これまでもホテル誘致などの期待はあると伺ったが変わりないか。住宅ニーズは日々変化し、対応が遅れると失うことにもつながりかねないが見解を問う。
- (2) 20代後半からの駅前住宅ニーズも数年前から現在も継続してあると聞いている。人が集い、住み続けられる場所として提供できないか。

### 2 栽培漁業振興について

- (1) 種苗放流事業に対し毎年助成し、滑川漁業協同組合分としてクルマエビ60,000尾を放流している。滑川漁協でも約10年前までは清伸丸という船がクルマエビを採っていたが、廃船以降漁獲は現在ないのではないか。また、富山県内でも1977年から本格的に種苗生産・放流事業が開始され、近年では600万尾の放流が行われているが、漁獲量は減少し、放流効果について疑問視されているが、クルマエビの生息について調査結果はどうか。
- (2) クルマエビの国内需要は非常に高く、養殖技術も格段に向上され、生きクルマエビでは対応できなくなり、プロトン冷凍を用い出荷されるものも高値で取引されている。今後、浜の活力再生プランにおいても漁業協同組合や県水産研究所などと協力し、地域ブランドの掘り起こしにつなげていただきたいと考えるが見解を問う。

### 3 不妊治療助成について

- (1) 不妊治療件数の推移・経年的治療受診件数、また、今後の治療需要について見解を問う。
- (2) 体外受精・顕微授精によるこれまでの出生数はどうか。また、助成拡充された男性不妊治療件数は平成30年度・令和元年度0件であるが、事

業の効果的運用により男性が受診されることで出生成功率は高まるのではないか。

- (3) 日本では不妊治療に対し保険適用されておらず、治療者に対し経済的負担軽減措置として、特定不妊治療費助成制度が運用されているが、不妊治療を受ける当事者団体NPO法人F i n eのアンケートでは、それでも経済的理由で高額の治療を受けることを躊躇、延期したことのある人は81%と報告されている。経済的負担の課題は今後検討していかなくてはいけないのではないかと考えるが、拡充について当局の見解を問う。

#### 4 水道・下水道事業について

- (1) 本市では生活様式の変化に伴う水需要の減少や、災害時における非常事態への対応を行う必要があることから、滑川市総合計画に沿いながら、重点的に取り組む施策を具体的に示す「滑川市水道事業ビジョン」が策定されているが、水道事業を除く総合計画に沿う各施策は「滑川市人口ビジョン」将来展望・目標人口により組み立てられていると考えている。水需要予測では社人研による将来推計人口により予測をたてられているが、水道事業は、人口減少から目を背けずに向き合い、間違えることができない事業であるからということか、見解を問う。
- (2) 平成30年3月定例会では、長瀬上下水道課長より「給水収益の減少、老朽管の更新事業により多額の支出が見込まれるが、現在の料金を維持できるように経営努力していく」とあったが、平成27年に策定された水道事業財政計画では、2020年ごろに供給単価を7%上昇させ110円程度（平成26年度末は102.8円）とすれば、2024年までの期間内における資金を確保できると予測し、中期財政計画でも供給単価は110円で組まれている。供給単価が据え置かれた理由について問う。
- (3) 管路の年代別分布状況・管路更新需要の算定から、布設年度延長は1990年から多く管路布設延長が行われたことに伴い、2030年から管路更新事業費は大幅に増える見込みである。また、更新需要を勘案し資金計画を検討した結果、法定耐用年数の1.5倍での更新を行ったとしても、内部留保資金は2025年に約36百万円不足し、起債に依存した経営は得策ではないと判断している。更新時期と同時期には、人口減少に伴いさらに供給量縮小が予測される。平成30年3月定例会では「預金が底をついた状態になれば一般会計からの繰り出しになるか」という質問に対し、長瀬上下水道課長から「そういう形になる」と答弁されたが、繰入れする計画があるのか。発言に対する説明を求める。

- (4) 現在、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の貸付対象者・その他一時的に支払いが困難な方を対象に水道料金・下水道使用料金の支払い猶予等に関する相談に応じる措置をとっているが、相談件数・相談内容はどうか。
- (5) 水道は命に関わる生活インフラであり、水道法においても安価な水の供給を目的としている。現在のような社会・経済状況の中、市民に負担を強いることは当然抵抗感が強いと考えるが、水道事業の安定的な持続性・ライフラインの維持と将来世代への負担を先送りすることのないよう市民に理解・協力いただく周知を行うとともに持続可能な料金水準を算出し、適期ではなく速やかな料金改正を行う必要があるのではないかと考える。また、公共インフラは水道に限らず、下水道経営は水道以上に厳しく赤字事業であり、既に一般会計からの補填で成り立ち、起債残高も大きなものである。滑川市下水道事業経営戦略で分析しているように、未整備地区の整備を進める一方で、更新投資の増加・地方債償還金は増加見込みだが、起債残高を増やさないように努力されるということだが、下水道事業に適用される独立採算性の原則と雨水公費・汚水私費の原則を踏まえ、私費負担部分については、適正に下水道使用料で徴収していくことが、必要であると考えている。水道・下水道事業共に各研究が行われ今後、優れた技術革新や活用・事業手法・業務共同化・自動化などにより改善・好転していくかもしれないが、それには時間が必要かもしれない。将来的な見通しを鑑みれば、今できることは市民に理解協力頂き負担を先送りしないことではないかと考える。上田市長任期期間中に、料金改定に取り組む考えはあるか問う。



## 開田 晃江 議員（一般質問）

### 1 教育について

- (1) G I G Aスクール構想の中で小・中学校にそれぞれ予算計上されているが、12月までにタブレットの準備ができるとの報告の中で、各学校の無線LANの整備はどのような状況か。同時進行されているのか伺う。
- (2) インターネットの接続状況はどうか。新しい教科書ではQRコードを読み取って授業を進める中で、40台のタブレット端末が同時に動くためアクセスが多くなり通信エラーなどあってはならないが、現状及び対策はどうか。
- (3) 教育現場のいじめについて
  - ア 8月22日に2019年度のいじめの新聞報道があった。滑川市のいじめと確認された件数はどれほどか。
  - イ それに伴う児童・生徒の不登校はどうか。
  - ウ 昨年秋に神戸の教員同士のいじめ問題が話題になったが滑川市は大丈夫か。

### 2 コロナ禍の中で

- ・ コロナ禍の中の日常生活支援について
  - ア 市役所を中心に各公民館を利用した、リモート会議ができる準備を。新しい会合スタイルの構築を。
  - イ N e t 3の滑川版の番組改善を。

コロナ対策の市長報告、4月の教員の異動、昨年11月の民生委員の交替に伴う委員の紹介、人権擁護委員報告、9月26日の交通安全市民大会の事前予告など、もっとタイムリーに顔の見える報道を。(地区別番組など)
  - ウ 新生児子育て応援事業費について、新生児をもつ若いママは大喜び、その中で、いつからどのように支給されるのか。またどのような商品券を考えているのか伺う。
  - エ 今年はインフルエンザとコロナ感染症の症状が似通っていると聞いている。予防意識を高め、医療費削減のために高齢者のインフルエンザ予防接種を無料にできないか。

### 3 公園について

- ・ 全国植樹祭が行われた堀江運動公園植樹会場の今後の管理をどのようにするのか。

## 竹原 正人 議員（一般質問）

### 1 with コロナ、アフターコロナを見据えて

- (1) 今定例会では、新型コロナウイルス感染症に対する感染予防備品購入費として、市内の幼稚園、認定こども園、保育所、小学校、中学校、子ども図書館、児童館、市民健康センターに予算措置がされた。今後、市が管理する施設等にも対策が必要と考えるが、今後の取り組みは。
- (2) インフルエンザ予防接種について
  - ア 先日、県はインフルエンザ予防接種について、本年度に限り、助成すると発表があった。本市は既に中学3年生まで助成しているが、助成の金額も違えば、対象となる子どもたちの年齢も違うことから、事務手続き等が煩雑になり、以前より事務仕事が増え、職員の負担にならないか。
  - イ 他自治体も、県のインフルエンザ予防接種助成に便乗して、助成範囲を拡充している。本市は、高齢者への助成の拡充についてどう考えているのか。
- (3) 公共施設の今後の利用の仕方について、3密を避ける工夫等、どのように考えているのか。
- (4) 公共施設でのイベント等、今後の運営マニュアルの策定や、換気等の対策で修繕が必要になってくると考えるが見解は。
- (5) 一部民間事業者の間では、支払い時等のレジ待ちで密になっているとも言われている。国はキャッシュレスを推奨しているが、本市として、各種税金の納付や利用料金等の支払いに対するクレジット決済などのキャッシュレス化についてどう考えているのか。
- (6) 今年は、ほとんどの行事が、中止や延期となった。今後、以前のように行事ができるようになるために、市としての明確な基準を決めていくのか。
- (7) 来年の成人式はどうなるのか。

## 2 中滑川駅周辺地区整備事業について

- (1) 現在、実施設計業務委託中であり、フロア内の設計等、流動的な所がある中、賑わい創出協力事業者を募集している。どのような交渉を行っているのか。
- (2) 通年の維持管理費を少しでも下げるためにも、テナント等、常時、家賃を払ってもらえる事業者が必要と考えるが見解は。
- (3) ピロティ、外部ホール、建物の外などの利活用についてどう考えているのか。

## 3 除雪について

- (1) 昨シーズンの除雪にかかった予算について今シーズンも同様と考えているのか。
- (2) 一部民間会社の場合、除雪業者とシーズン契約を結び、出動回数が少なくても、機械の借上げ料等に赤字が出ないように、配慮している。市の場合は逆で、シーズン中、出動回数が少なければ、業者は赤字で、市の負担は少ない。除雪は市内業者の協力で成り立っていることを考えれば、もっと配慮が必要ではないか。
- (3) 令和2年度、除雪に関する事前調査書に市民からの除雪要望に応えるため、除雪の委託先として市外業者の参入を検討することについて、ご意見をお聞かせくださいと書いてある。何のために設問したのか。



## 尾崎 照雄 議員（一般質問）

### 1 教育について

- (1) G I G Aスクールサポーターの配置について
- (2) 中学校のスマホの持ち込みについて
- (3) いじめの認知件数について
- (4) スマホ用いじめ通報アプリ、ストップイットの導入について
- (5) 新型コロナウイルス感染症対策として、学校のトイレの手洗い場の蛇口を自動化にしてはどうか。

### 2 子育てについて

- ・ 新生児子育て応援事業について
  - ア なぜ5万円なのか。その根拠は。
  - イ なぜ商品券なのか。

### 3 防災について

- (1) コロナ禍における避難所運営について
  - ア 市職員に対するマニュアル見直しの周知、研修について
  - イ 防災訓練について
- (2) マイタイムラインの作成について
- (3) 市指定避難所のW i - F i環境について
  - ア 現状はどうか。
  - イ 今後の環境整備について